

# 石垣島白保サンゴ礁保全調査プロジェクト

活動地域  沖縄県石垣市

つづける助成  
**3年目**  
知識の提供・普及啓発

地域住民、行政等への聞き取り調査	<b>11人</b>
ワークショップ参加者	<b>18人</b>
今年度計画の達成度	<b>70%</b>
目標達成度	<b>70%</b>



遠隔ワークショップの様子

## 苦労した点と工夫した点

### ■ 苦労した点

最終年に本事業の主たる活動である市民調査を中止せざるを得ない状況となり、代替活動への切り替えとその調整に苦労した。

### ■ 工夫した点

調査の集大成として、現地の協力を得て三つの調査を映像に収録し、教材化した点。また遠隔ワークショップを企画して教材を利用し、地域内外の交流を行ったこと。

## 課題

西表石垣国立公園白保海域公園地区のサンゴ礁は、気候変動や営農活動に伴う赤土の海洋流出などの影響により、劣化が進んでいる。

## 目標

研究者、地域内外のNPOや市民が連携し、野外調査や保全活動を通じてサンゴ礁の価値を再認識し、陸から海に流入する赤土を最小限に抑え、サンゴ礁の生息域を保全する。

## 活動内容と成果

本地域のサンゴ礁733haと農地663haを対象に海・陸・文化調査を行い、調査手法の確立、マニュアル及び解説動画の制作を行った。  
また研究者、現地NPOや協力農家、都心に住む市民ボランティアが本地域のサンゴ礁保全活動について活発な意見交換を行うワークショップを開催した。  
解説動画の制作やワークショップでの協議を通じて、現地関係者に調査の意義を浸透させ、今後の継続した活動への道筋をつけることができた。



海域の赤土調査の様子

## 全助成期間の活動を振り返って

本活動は、現地住民の手で実践できるサンゴ礁保全のための調査手法と対策を確立し、運営及び指導力を現地住民が身につけ、継続的で自立的な活動を行うことを目指した。研究者や現地関係者、ボランティアと試行錯誤を繰り返してグリーンベルト調査の手法を確立させ、それをマニュアルや解説動画などの教材として地域に残すことができた。また、最終年には現地関係者が主体的に調査を推進する機会を持つことができて良かった。



グリーンベルト調査の様子

〒113-8657  
東京都文京区弥生1-1-1  
電話：03-6686-0300  
E-mail：info@earthwatch.jp  
HP：https://www.earthwatch.jp/



## 今後の展望

本事業で制作した海・陸・文化調査の解説動画やマニュアルを教材として活用し、現地NPOが近隣の学校、大学や企業の保全活動としてグリーンベルト植栽や調査を運営し、保全対策の必要性を浸透させていく。また地域外の人々が遠隔で継続的に白保集落の保全活動を見守り、何か白保の人々が助けを必要としているときに応援に行くような、緩やかで無理のない保全コミュニティづくりを目指していく。